MITSUBISHI

三菱 電気 温水器

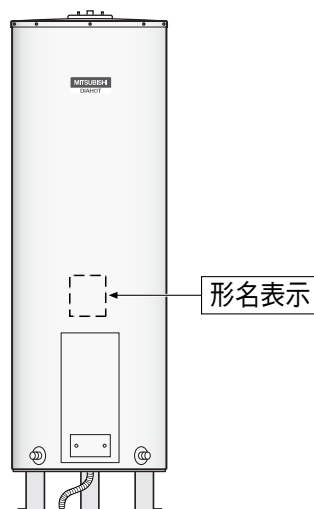
深夜電力8時間

取扱説明書

電気温水器正面の形名表示を確認し、形名チェック欄❏に、お買い上げの温水器をチェックしてください。
（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

形名

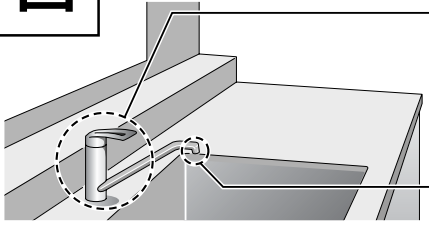
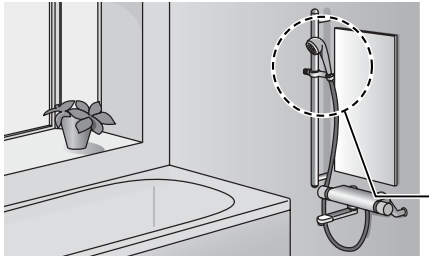
❏ SR-151A（150L）
❏ SR-201A（200L）

（　）はタンク容量です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。

●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

●「保証書」「据付工事説明書」「据付工事確認書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。温水器を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

もくじ

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		指示に従う		感電注意		高温注意		発火注意

やけどを防ぐために!

警告

やけど注意	**給湯時は、湯水混合栓に手を触れない**
	使いはじめは、湯温を確認する 特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。
	入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する

安全に使用するために

警告	分解禁止 前面カバーを開けない 改造しない	近くにガス類や引火物を置かない (ガスボンベからは2m以上離す。)
	異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P.11」へ連絡する	
注意	**そのまま飲用しない** 長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。 ●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。 ●熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。 ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。	
	通電はタンクを満水にしてから行う ヒーターが過熱して故障の原因になります。	
	温水器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない (事故・やけどの原因になります。)	

ご使用の前に
準備
こんなとき
故障かな

点検・お手入れに関する注意

警告	漏電遮断器の動作を確認する P.6
	逃し弁の点検をする P.6 (タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。) ●点検時は内部の配管に手を触れない
	アース工事 **アース工事を確認する** (故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店(販売店)へお問い合わせください。)
注意	凍結防止対策の確認をする P.7 (タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。) 床面が防水・排水処理されているか据付工事店(販売店)へ確認する (水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。)
	操作カバーは閉じる (雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。)

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

警告	長期間使用しないときは、本書の手順に従って、温水器内の水を確実に抜く P.8 ●排水時はお湯に手を触れない ●タンクの熱湯を直接排水しない
注意	初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う P.5

部品名は各部のはたらき(P.4)をご覧ください。

ご使用にあたってのお願い

❏お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

- シャワーは止めながら
  (髪を洗っているときは止めましょう。)
- 洗いものをするときも止めながら

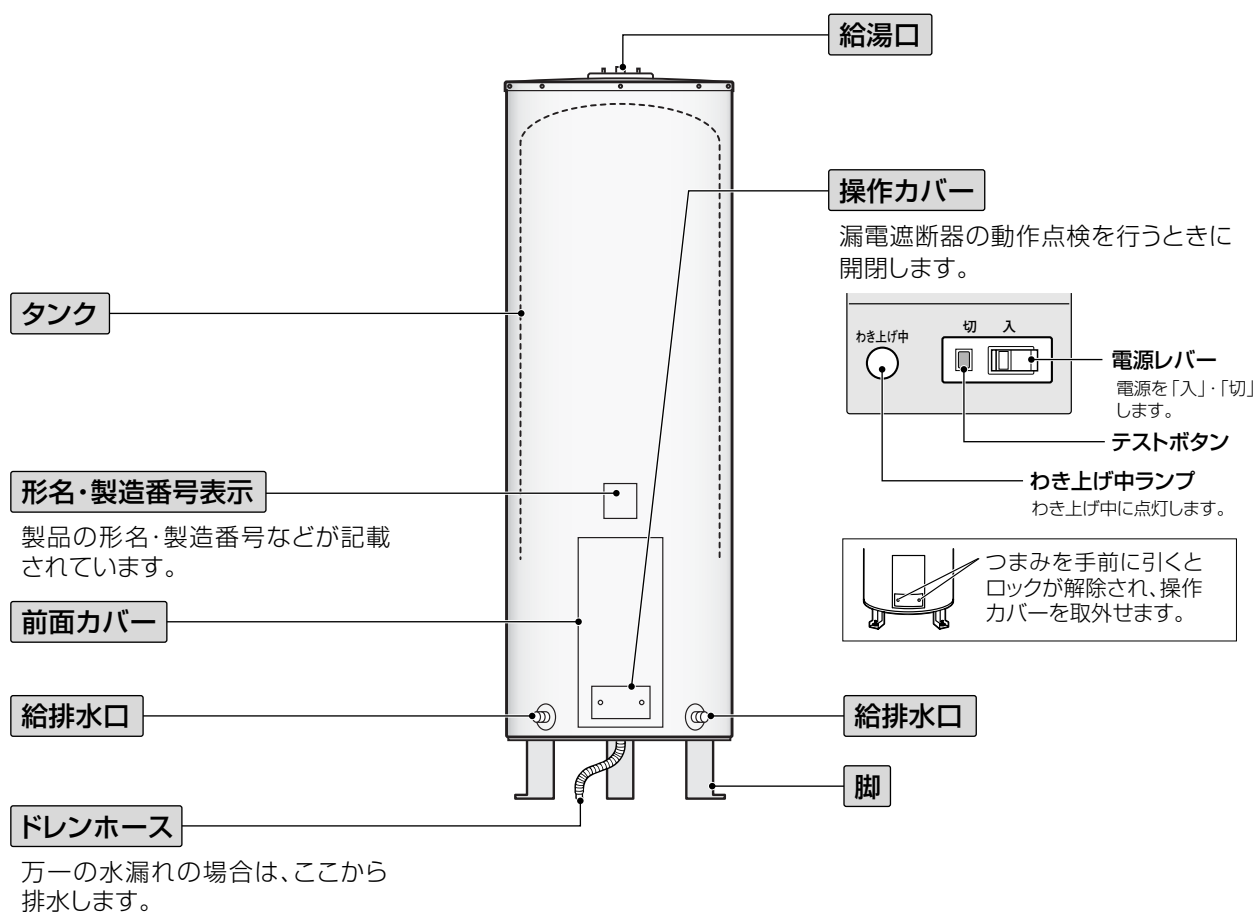
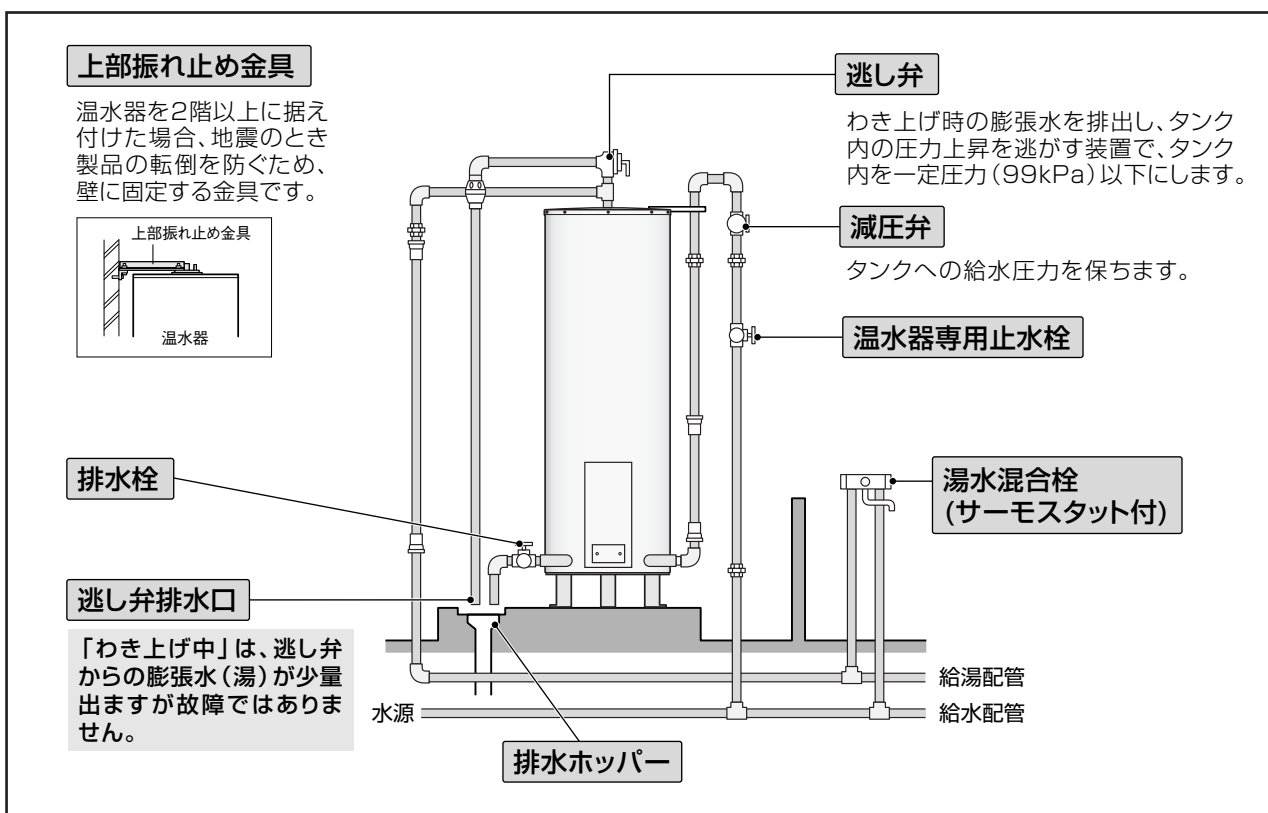
❏設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

❏必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(不具合が発生した場合、無償保証できません。)

各部のはたらき

本体周辺部

タンクに水を入れる（準備）

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で温水器の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、「8」に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合があります。

※温水器を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

1.以下のことを確認する

（1）操作カバーを開け、漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを「切」にする

（2）温水器の排水栓が閉じていることを確認する

（3）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

2.タンクを満水にする

（1）逃し弁のレバーを手前に起こす

（2）温水器専用止水栓を開き、タンクへ給水する

（3）満水になったら、逃し弁のレバーを戻す

- タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安は約10分～30分です。機種により異なります。）

（4）給湯配管の空気を抜くため、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1カ所）

- 空気が抜け、蛇口から水が出たら蛇口を閉じてください。

ポイント
- **タンクを満水にしてから電源を入れてください。**
- 温水器専用止水栓は閉じないでください。

3.電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

（2）漏電遮断器の電源レバーを「入」にする

4.夜間時間帯にお湯をわき上げます。

電源を入れても、すぐにわき上げは行いません。電気料金の安い夜間時間帯（地域によって異なります。）にわき上げを行います。わき上げ中は、本体操作部の「わき上げ中ランプ」が点灯します。

5.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

⚠警告
使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

お手入れと点検

日常のお手入れ

❑本体のお手入れ

本体の表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

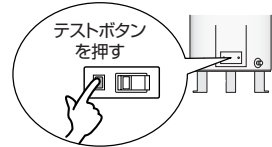
ポイント ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2～3回程度のお手入れと点検

点検中（漏電遮断器の動作点検、逃し弁の点検）やタンクのお手入れ中は、お湯を使用できません。

❑漏電遮断器の動作点検

動作点検は、200V電源供給中（夜間時間帯）に行なってください。

①テストボタンを押す
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを「入」に戻す

⚠警告 漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

ポイント ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意 配管を点検をする
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

ポイント ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉
逃し弁のレバーを手前に起こし、排水（お湯）が排水ホッパーへ出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉
わき上げをしていないとき（本体のわき上げ中ランプが点灯していないとき）、排水ホッパーから水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

⚠警告 点検時は配管に手を触れない（やけどの原因）
⚠注意 逃し弁の点検をする（やけどの原因）

ポイント ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）
●動作点検、水漏れ点検を行なって正常ではない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑タンクのお手入れ

①排水栓を約1～2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる
汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⚠警告 排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

ポイント ●わき上げ中は行わないでください。
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店（販売店）へご連絡ください。（有償）

定期点検（有料）

温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「修理窓口 P11」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❑定期点検の主な内容

項目	内容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、ストレーナーの掃除

❑消耗部品（下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。）

●減圧弁　●逃し弁　●ヒーター　●パッキン類

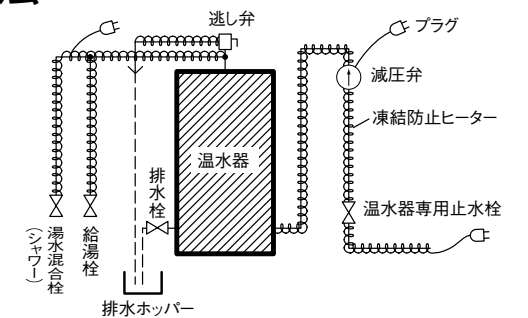
凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）
凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」「水抜きによる方法」などがあります。どの方法で施工されたのか据付工事店へ確認してください。また、お客さまが行う具体的な操作方法についても確認し、凍結防止の操作を行なってください。

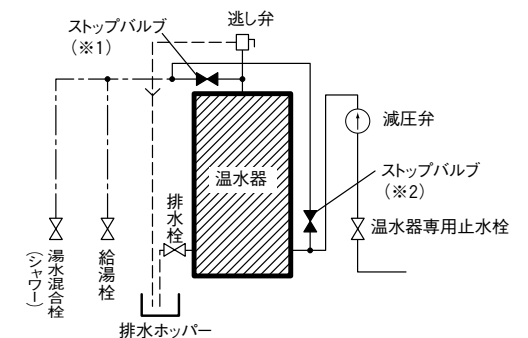
⚠注意
●凍結防止処置の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

ポイント ●配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

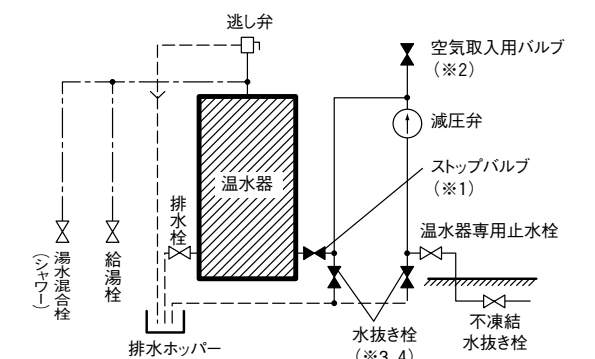
❑凍結防止ヒーター（推奨品）による方法

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

❑少量の水を流し続ける方法（凍結防止の間、お湯は使用できません。）

〈夜 お湯を使わなくなったら〉
①ストップバルブ（※1）を閉じ、ストップバルブ（※2）を開く
②各給湯栓、湯水混合栓を少し開けて、糸引き状態に水を流す

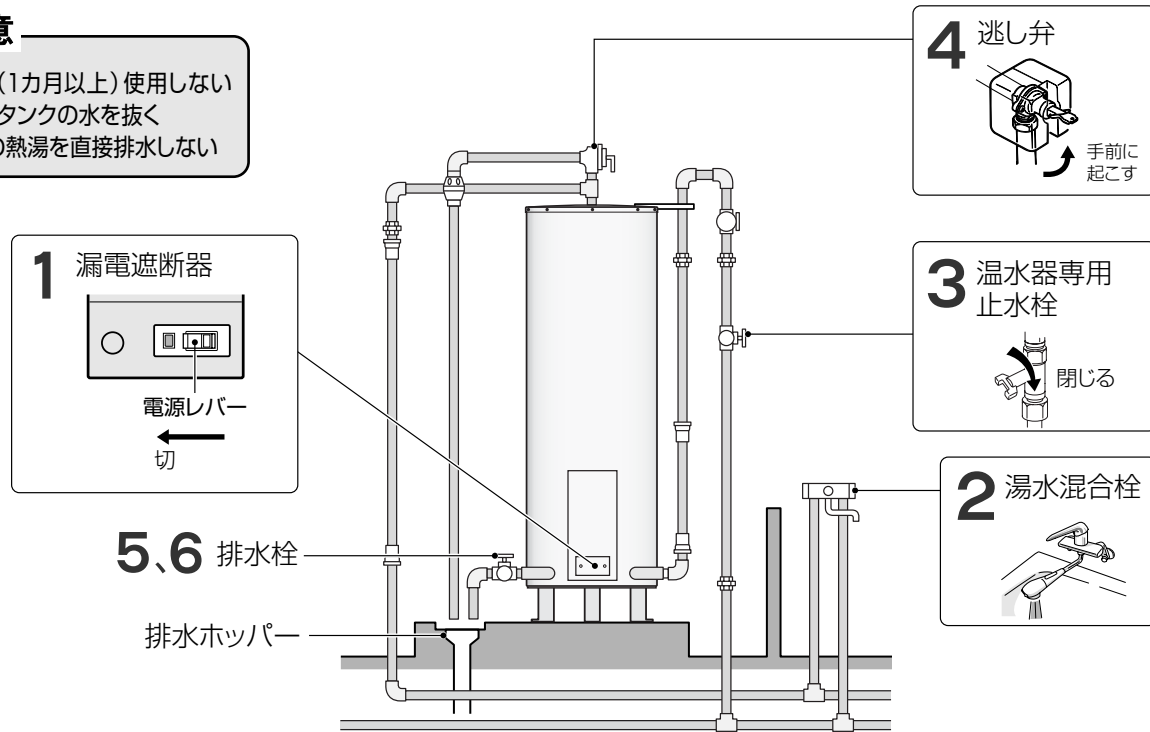
〈翌朝使用するとき〉
①各給湯栓、湯水混合栓を閉じる
②ストップバルブ（※2）を閉じ、ストップバルブ（※1）を開く

❑水抜きによる方法（凍結防止の間、お湯は使用できません。）

〈夜 お湯を使わなくなったら〉
①温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じる
②ストップバルブ（※1）を閉じ、空気取入用バルブ（※2）を開き水抜き栓（※3、4）を開く
③減圧弁のホース接続口を押す〈図〉
（詳しくは減圧弁の説明書をご覧ください。）
④逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開く
⑤排水栓を開き、15～20L程度（約2分間）排水する
（排水が終わったら排水栓を閉じてください。）

〈翌朝使用するとき〉
①逃し弁のレバーを下げる
②減圧弁のホース接続口を引き出す
③空気取入用バルブ（※2）と水抜き栓（※3、4）を閉じる
④不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓とを開きストップバルブ（※1）を開く
⑤湯水混合栓、給湯栓を閉じる

長期間使用しない

長期間（1カ月以上）使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。
また、凍結による不具合防止のため、温水器の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。水抜きを行わないと凍結により温水器が破損することがあります。

⚠警告
排水時は、やけどに注意する

⚠注意
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない

手順	操作	補足
1	**電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする**	● 電気の供給を停止します。（あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。） ● 操作カバーの外しかた つまみを手前に引くとロックが解除され、操作カバーを取外せます。（☞4）
2	**タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す** 熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。	● お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。
3	**温水器専用止水栓を閉じる** タンクへの給水を止めます。	● 温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。
4	**逃し弁のレバーを手前に起こす** タンクへ空気を取り入れます。	
5	**排水栓を開く** タンクの水（お湯）を抜きます。 水が抜けるまでに約20分～30分かかります。	● 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
6	**水抜き完了後、1時間程度放置してから、排水栓を閉じる** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	

ポイント
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。（逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。）
- 再び使用するときは、排水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（☞5）を行なってください。

仕様、基本原理など

❏仕様

形名		SR-151A	SR-201A
適用電力制度		深夜電力8時間	
設置場所（推奨）		屋内	
タンク容量		0.15m³（150L）	0.20m³（200L）
定格電圧		単相200V	
定格消費電力	最大消費電力	2.1kW	2.4kW
	ヒーター	2.1kW	2.4kW
わき上げ温度		約85℃	
外形寸法	高さ	1375mm	1709mm
	外径	φ530mm	
	奥行	530mm	
製品質量（満水時）		29kg（179kg）	34kg（234kg）
水側最高使用圧力		99kPa	
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁	

❏基本原理

①自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3％増加します。例えば、200Lの温水器では、約6L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作なのです。

水 → 約3% → 湯

③主に、夜間にわき上げを行います

割安な夜間電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。

※ご契約の電力制度によって時間帯は異なります。

④タンク貯湯式です

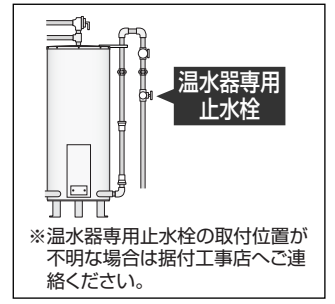
わき上げたお湯をタンクに貯湯し、蛇口（湯水混合栓）で水と混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

❏停電したとき

- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。停電しても電源は切らないでください。

❏断水したとき（水が濁る）

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、温水器専用止水栓を閉じてください。（閉じると温水器からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で減圧弁のストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。
③工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、温水器専用止水栓を開いて使用を再開してください。

※温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は据付工事店へご連絡ください。

❏給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、温水器からの給湯を止めるときは、水道の元栓と温水器専用止水栓を閉じてください。

ポイント ● パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

ご使用の前に
準備
こんなとき
故障かな

故障かな?と思ったら

	症状	処置・確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	●温水器専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、温水器専用止水栓（P.9）を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。 ●配管内の冷めたお湯が出てから、お湯が出ます。
お湯	お湯が足りない	●お湯をたくさん使用した場合、翌日まで使用できません。 ●わき上げを行なっていないときに、逃し弁の排水口から水（お湯）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P.6）
お湯	お湯がわかない	●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。
お湯	お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となってでてくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯	お湯から油がでる、 お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順（P.8）によりタンク内の湯を入れかえてください。
お湯	浴槽や洗面器等に 青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
お湯	浴槽の水が青く見える	●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。
温水器	逃し弁の排水口から お湯（水）が出ている	●わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。（P.9） ●わき上げを行なっていないときに、お湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P.6）

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理窓口 P.11」へご相談ください。

保証とアフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

期間	対象
2年間	本体（逃し弁、減圧弁）、パッキン
3年間	ヒーター
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度（詳細は裏表紙参照）」があります。

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「修理窓口」（下記一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（P.10）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

ご連絡いただきたい内容
●品名：三菱 電気温水器
●形名：（例）SR-201A（エスアール エー）
●お買上げ日：年月日
●故障の状況：できるだけ具体的に
●お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は温水器の前面カバーにに表示（P.4）

●据付（接続・調整・取扱説明等）を依頼されると有料となることがあります。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーコール　0120-139-365（無料）（いつもサンキュー 365日）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	(03) 3414-9655（有料）

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル　0120-56-8634（無料）

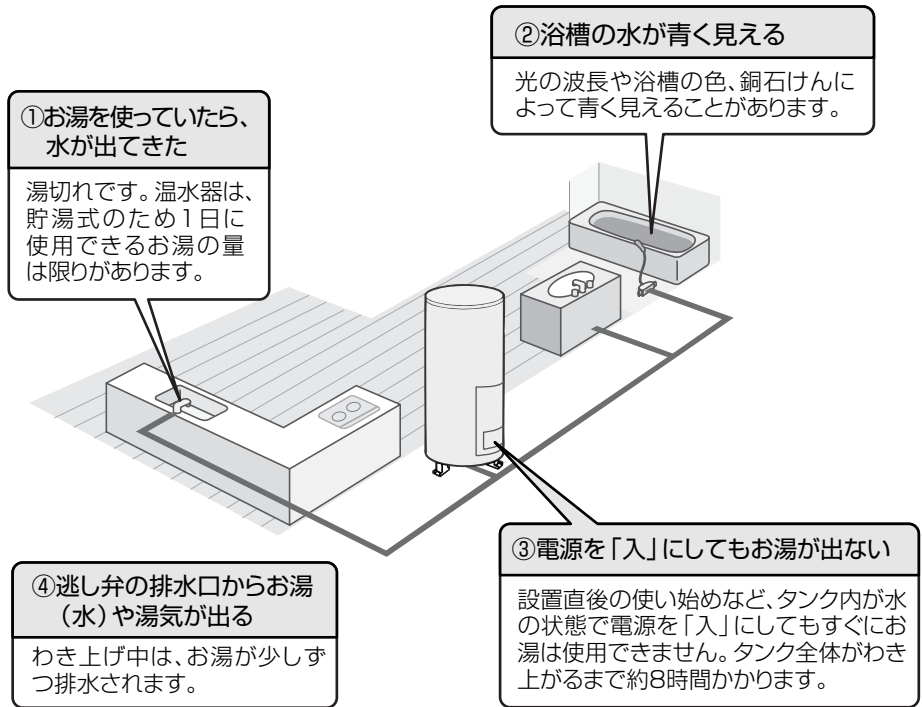
インターネット　www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北全域 関東甲信越（長野県飯田地区を除く） 静岡県・九州全域	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
長野県（飯田地区） 東海（静岡県を除く） 北陸・関西・中国・四国全域	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K09B

困ったときは

よくあるご質問

延長保証制度

延長保証期間が 8年間 と 5年間 の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

延長保証期間8年間の場合

商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

〈例〉ご購入日　1年後　2年後　3年後　4年後　5年後　6年後　7年後　8年後～

申込有効期間 3カ月以内 → メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

延長保証期間5年間の場合

商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

ご購入日　1年後　2年後　3年後　4年後　5年後～

メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証は終了後は通常の有料修理に移行いたします。●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。 保証する修理費用 = 技術料 + 部品代 + 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉

三菱電気温水器
8年間保証料 9,750円（税抜価格 9,286円）
5年間保証料 4,935円（税抜価格 4,700円）

2010年10月現在（保証料は変更する場合がありますのでご注意ください）

資料のご請求はこちらへ 三菱電機延長保証申込受付センター
0120-867-789
受付時間：平日午前9:00～午後5:30（年末年始を除く）

製品形名〈製造番号〉	〈　　　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
お買上げ日	年　月　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の温水器の点検を!　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。		ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、温水器専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

T962Z277H01 〈2010-10〉